

2008年2月13日

平成19年12月期 決算説明会

株式会社メディビックグループ
(証券コード2369 東証マザーズ)

メディビックグループ 会社概要

資本金	20億5,839万円（2007年12月末現在）
設立	2000年2月17日
本社	〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-6 ニュー西新橋ビル5F
代表取締役	橋本 康弘（易周）
売上高	780百万円（2007年12月期 連結）
公開市場	東証マザーズ（証券コード2369）
主な事業内容	バイオマーカー創薬支援事業、創薬事業

持株会社

株式会社メディビックグループ

上海事務所（中国）

グループ企業

関西ラボ

株式会社メディビック

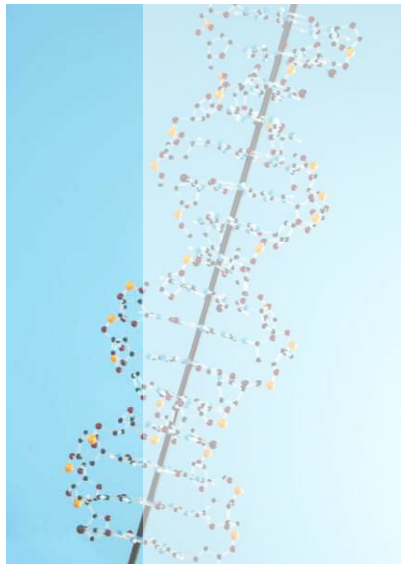
株式会社サイトクオリティ

MediBIC Life Sciences, Inc.

株式会社メディビックファーマ

株式会社Asia Private Equity Capital

メディビックグループ 創業理念



副作用の少ない
個人に適した
テーラーメイド創薬の



実現を目指す



メディビックグループ 2007年について

△事業再構築（PGx事業への集中＝他部門の縮小）

- ・投資会社分離
- ・創薬事業・海外事業の縮小による人員削減
- ・その他固定費削減

△Generation Groupからの資金調達による財務安定化

- ・自己資本比率56% から 93%へ

▼大幅な赤字計上（主に特別損失4.4億円による）

- ・固定資産の評価減による予想以上の大幅赤字の計上によるもの

▼二度の資金調達による株式希薄化

問題も多かったが、復活へ向けた基盤整備は ほぼ完了

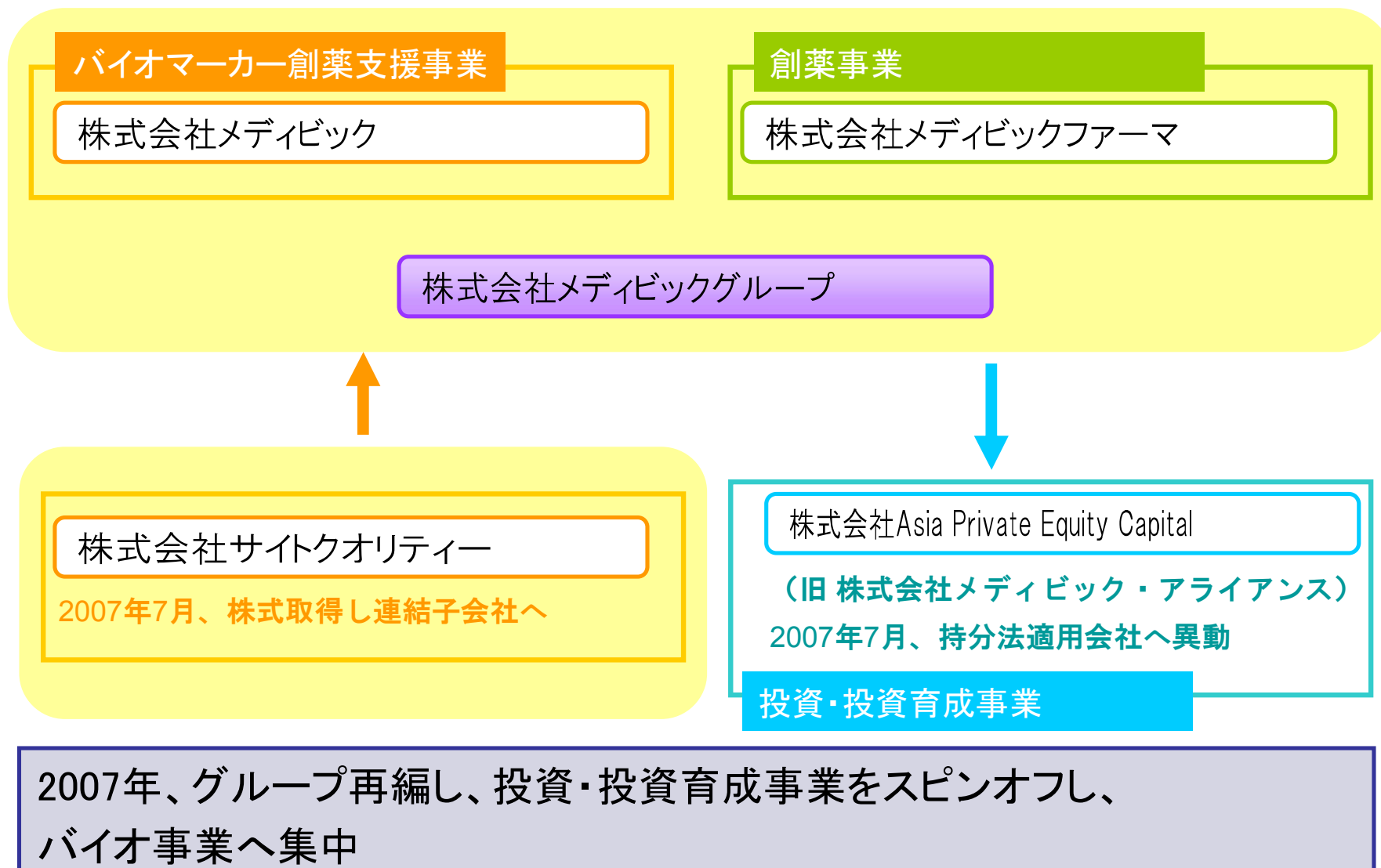
Generation Group について

- ・バイオ企業への投資実績を持つ
- ・当社のビジネスモデルに深い理解を示す
緊密なパートナーシップが望める
- ・中長期的な経営改善による事業価値の
向上を投資方針としている
- ・協業を望める優良企業への投資も
活発に行っている



当社グループにとって企業価値を高められるパートナー

メディビックグループ 2007年連結対象範囲の変更



メディビックグループ 2007年12月期 連結業績

■ 主要経営指標(連結)

(単位:千円)

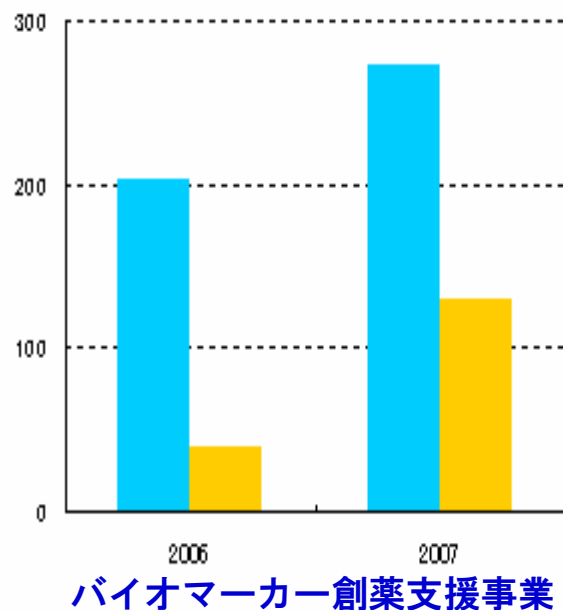
	2006年	2007年	差異
売上高	1,648,430	780,604	△867,825
経常利益	△38,642	△868,551	△829,909
当期純利益	△203,322	△1,314,775	△1,111,453
純資産	2,319,847	2,068,349	△251,497
負債	1,759,870	145,639	△1,614,230
総資産	4,079,717	2,213,989	△1,865,728

- ・投資・投資育成事業スピンオフや固定資産等評価損による特別損失により、
大幅な赤字計上。
- ・資金調達によりキャッシュフロー安定化 負債は大幅に改善。

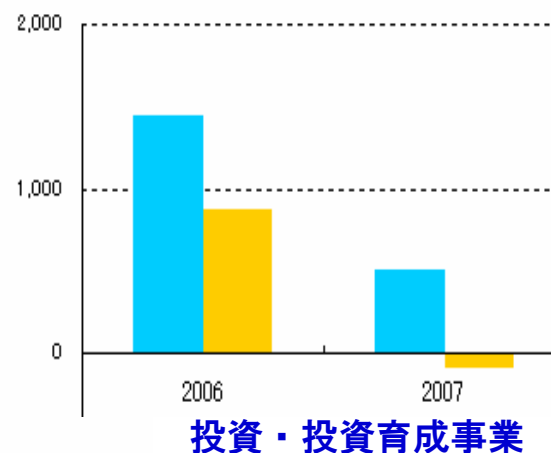
セグメント別業績・販管費推移(2006-2007)

(単位は全て百万円)

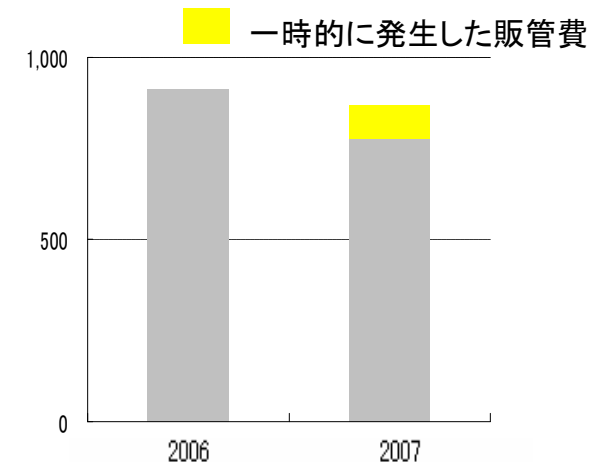
売上高・売上総利益の推移



売上高 売上総利益



販管費の推移



バイオマーカー創薬支援事業 …… 売上高 +35%増。売上総利益も増加。
投資・投資育成事業 …… 中間期にて分離。投資損失引当金等により売上・利益共に前年比大幅減。
販管費 …… 削減は5%に留まる。再編のため一時的にかかる費用 約92百万発生のため。
 2008年は 期首からの再編施策実行により約35%の削減予定。

創薬事業（グルフォスファミドの開発状況）

	適応	'04	'05	'06	'07	'08
海外 (Threshold社)	すい臓がん	P III				
	すい臓がん (GEM併用)	P I / II				
	小細胞肺癌			P II		
	卵巣がん			P II		
	軟部組織肉腫			P II		
国内 (メディビック)	固形がん			P I		

米国スレッシュホールド社と共同開発中で、国内では当社が固形がんを対象とした第 I 相臨床試験を実施中。年内には試験結果を発表する予定。

バイオマーカー創薬支援事業 2007年

- ・PGx試験を継続的に受注。検体保管が順調。
- ・PGx試験に係る検体の長期保管・管理が可能な、検体管理システムの販売開始
- ・PGxトータルソリューションにおいてAffymetrix Japanと協同支援を提携
- ・SMO事業を展開するサイトクオリティーを子会社化
- ・バイオチップコンソーシアム立ち上げに参画。現在事務局を務める。

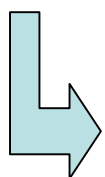
事業基盤を強化し、これまでの創薬市場に加え、健康・医療市場への展開も図れる体制を整えた。

バイオチップコンソーシアム

バイオチップコンソーシアム (Japan MicroArray Consortium)

略称: JMAC ジェイマック

2007年10月、経済産業省主導のもと、メディビックを始め、東芝、東レなど、バイオチップに関連する産業界が、バイオチップの標準化、産業化を目指した業界団体JMACを設立。メディビックは事務局を務める。



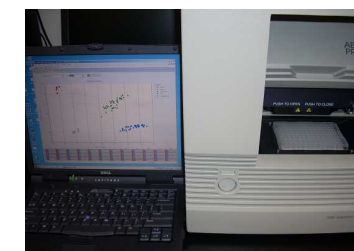
メディビックは
PGx活用を視野に



JMAC設立総会と
事務局長を務める弊社の中江常務取締役

・バイオチップの国内標準化・産業化の促進は、テーラーメイド創薬を進めていく上で、必要な環境づくり。JMAC設立の一助を担った。

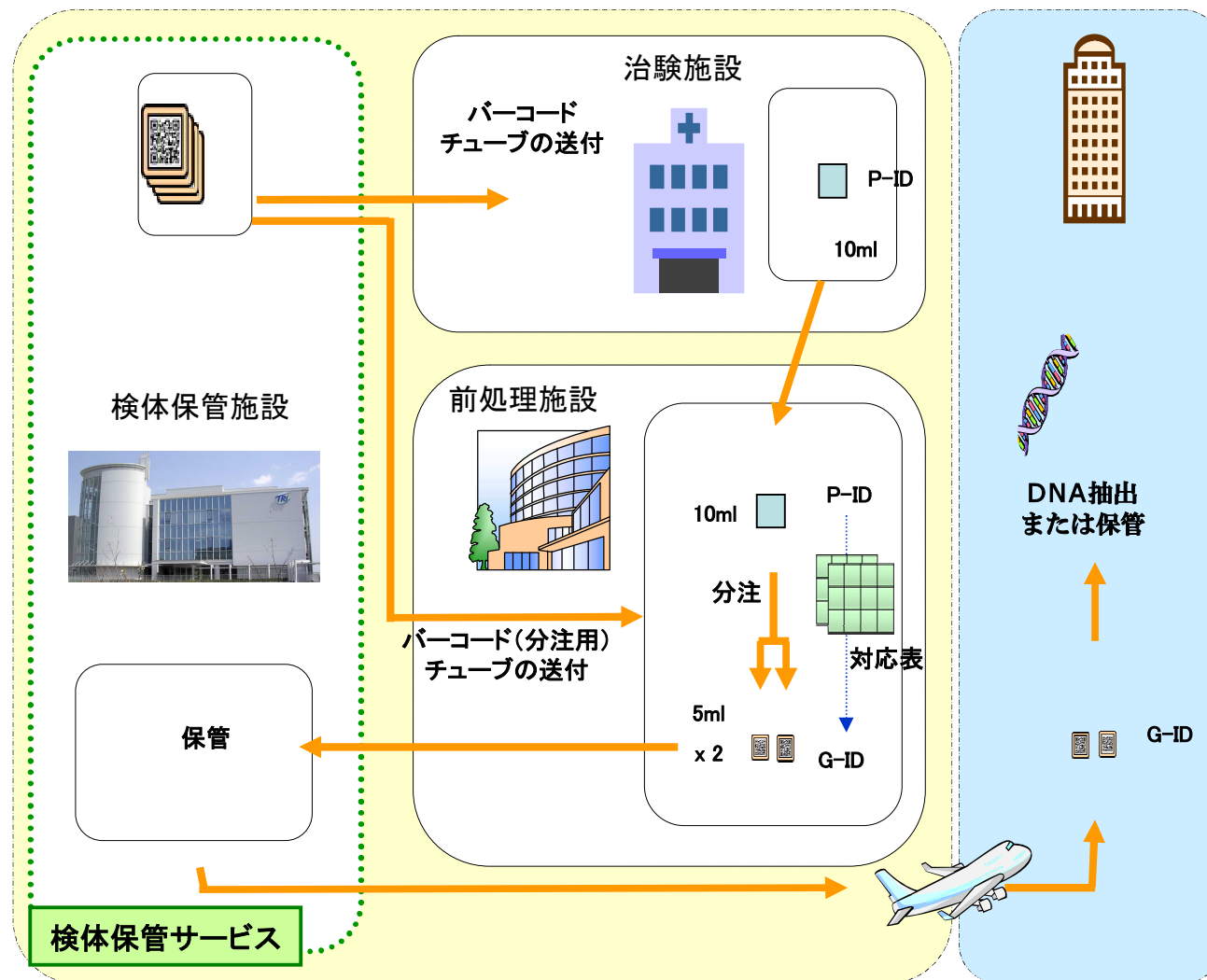
メディビック 事業基盤の強化(解析技術 稼動開始)



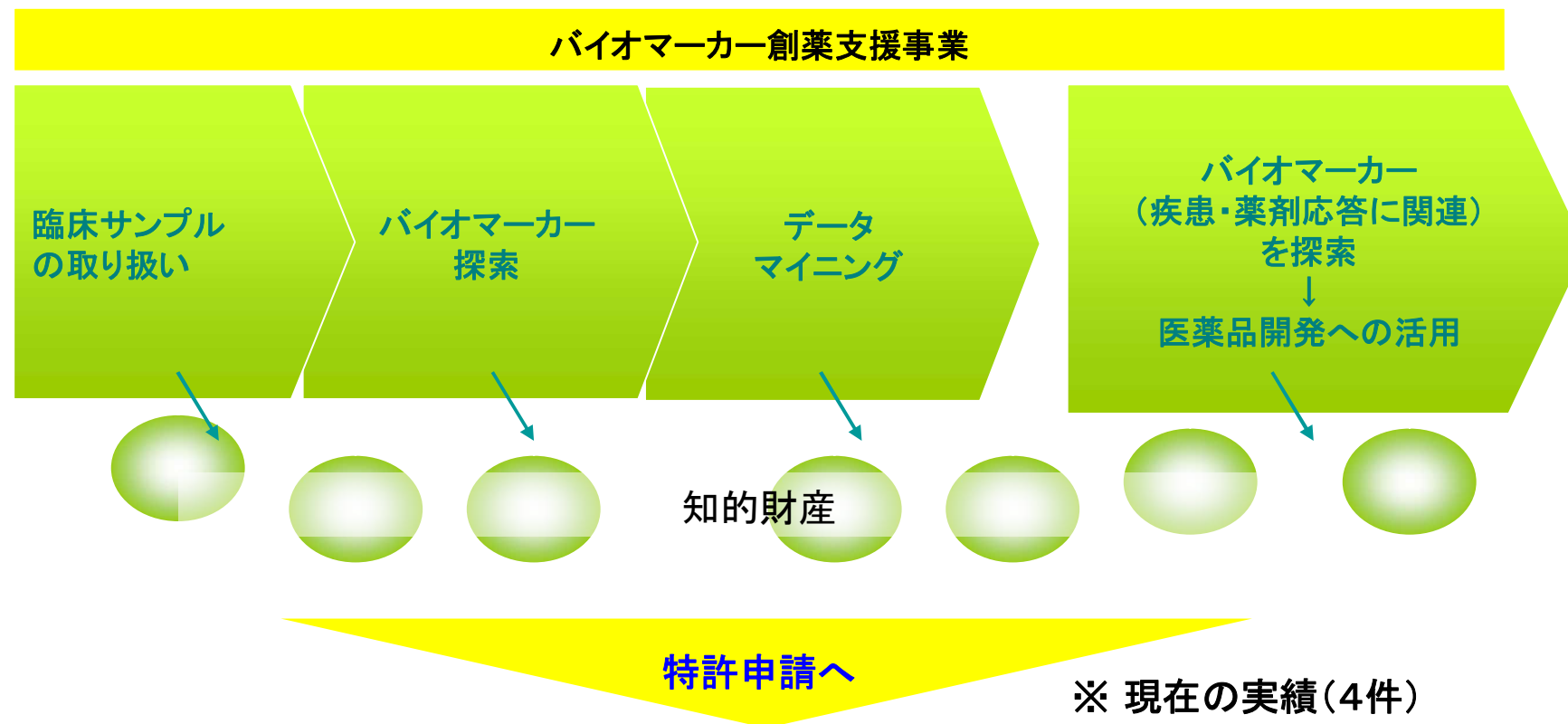
高いセキュリティー管理、安全対策、災害対策、品質管理などが施された施設内で、DNA抽出や解析を行える体制を整えている。

メディビック PGx試験支援サービス

- 高品質
- 経験豊富
- 一元管理
- 独自の匿名化
- 独自の符番体系
- セキュリティー管理
- 安全対策
- 災害対策



メディビック 基盤技術と知的財産の活用



バイオマーカー創薬支援事業で培った基盤技術は、
健康・医療など、さまざまな領域への活用が可能 ⇒ビジネスチャンス

健康・診断市場 成長の背景(行政)

<国の政策課題>

医療・高齢化
問題

社会保障制度の
見直し

年間33兆円※にも上る**医療費の削減**のため、予防医療の推進を軸とした医療制度改革など社会保障制度全体を見直し。

生活習慣病予防に向けた
環境づくり

生活習慣病は死因の6割に関係し、年間約10兆円の医療費が費消されている。予防医療を加速する、診断市場の台頭が望まれている。

※ 厚生労働省「国民医療費概況(05年度)」07年8月公表

テーラーメイドな健康状態・疾患管理による創薬・医療・健康管理支援は、これらの政策課題の解決の一助に。今後の成長が确实視される潜在市場。

健康・医療領域への活用とは(遺伝子情報の診断事例)



リスク保有者や罹患者は、医療者や保険指導者などから、より効果的な判断を受けられる。さらに、自らが積極的な健康改善に取り組める。

海外 PGx産業の拡大

■ 23andMe (米国)

Google出資※の企業。2007年11月に米国で、2008年1月からカナダ、欧州49カ国で、Webベースの遺伝子情報サービス開始。

個人がWebベースのインタラクティブツールと最新のDNA分析を通じ、自分の遺伝子情報を入手できるというサービスを廉価で提供開始。

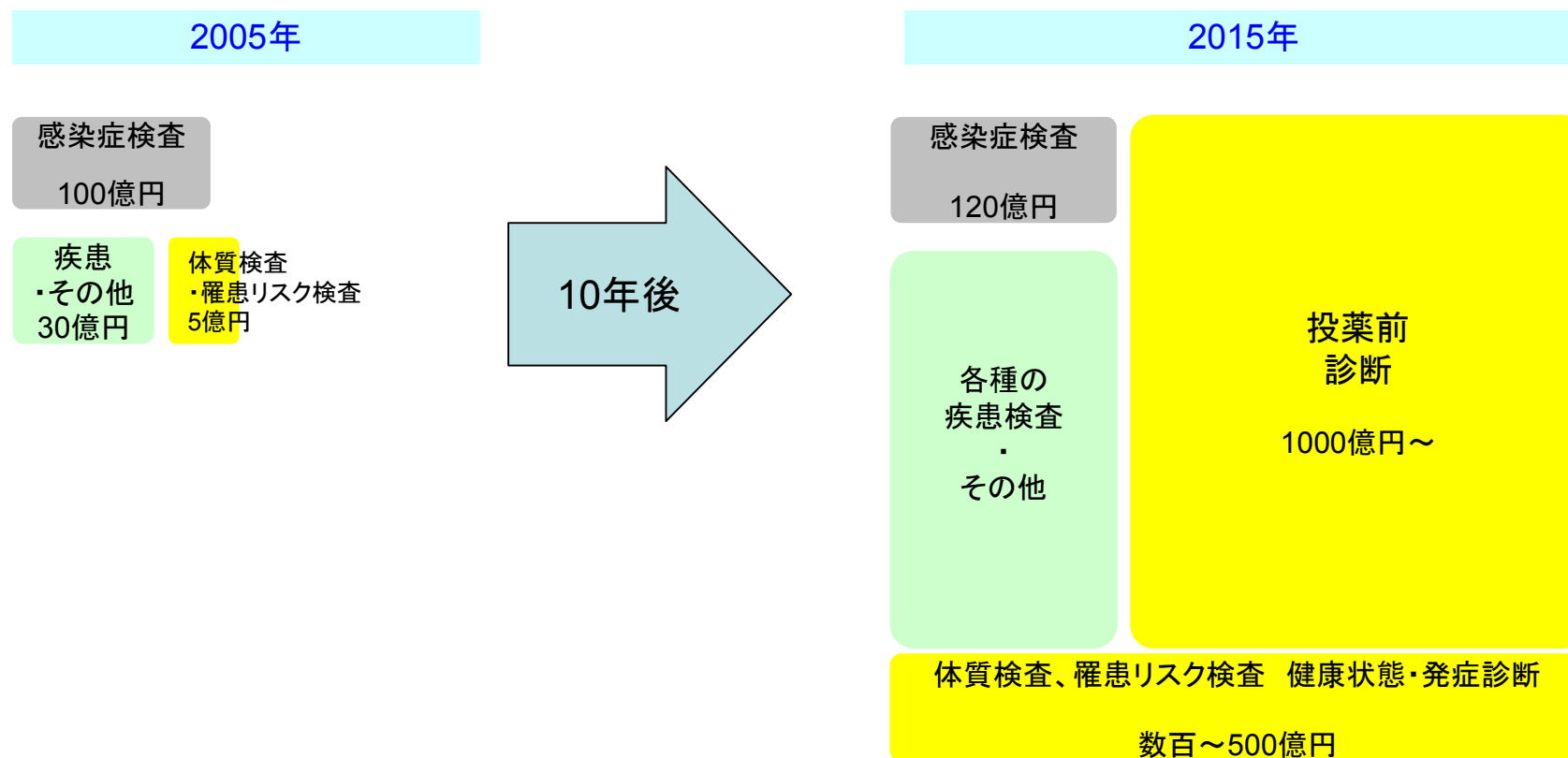
※ Googleの出資額は390万ドル

■ DNADirect社 (米国)

個人ベースの遺伝子検査を始めるなど、健康管理事業を開始。

健康・診断市場の世界では、個人向けの遺伝子解析や健康管理支援を行う、パーソナルPGxビジネスが台頭し始めている。

健康・診断(検査)市場の国内マーケットの展望



2006年9月 シード・プランニング社調べ

予防医療・個別化医療への国策と並行し、国内での個人向けの遺伝子解析や健康管理支援を行う検査市場も拡大していく、と予測できる。

PGxを取り巻く世界の動向(行政)とメディビックPGx



日本 厚生労働省

05年3月 パブリックコメントの結果を公表。

05年3月 米国でのガイダンスを受けて、「医薬品の臨床試験におけるPGx(ファーマコゲノミクス)の利用指針」を作成すべく、治験における遺伝子データの報告を通知。



米国食品医薬品局(FDA)

05年3月 新薬申請のためのファーマコゲノミクス・データ提出(任意提出)のガイダンス発表。



欧州医薬品審査庁(EMA)

04年7月 ファーマコゲノミクスの概念と遺伝子情報の取り扱い方を解説したリーフレットを作成し、啓蒙を行う。

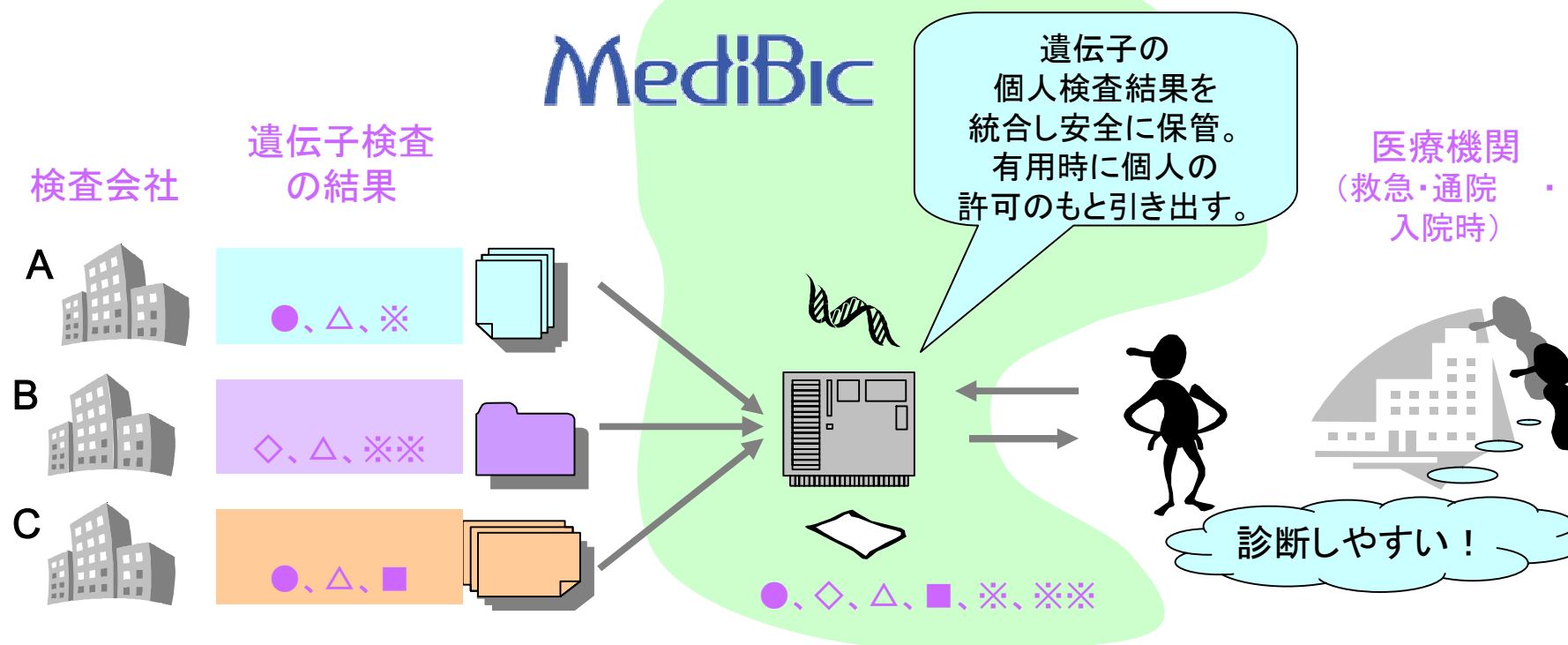
日本のガイドラインの遅れ

⇒メディビックのPGx事業は堅調な成長。

しかし、大きな成長は今しばらく時間が掛かる。

メディビック 健康・医療市場での新サービスの展開

個人が自己の遺伝情報を利用すると、体質を正しく把握でき、
発症するリスクを下げることができる。



バイオマーカー創薬支援事業のインフラやノウハウを活用し、
健康・医療市場における新サービスの展開も予定している。

メディビック 当社の使命とこれからの社会

PGx・バイオマーカーなどテーラーメイド創薬に関わる技術

メディビックの基盤技術

テーラーメイド創薬の実現へ

副作用の少ない効果の高い薬

薬(医薬品開発)

医療

医療現場での確実性や成功度の向上

個別化医療の実現へ

体質に合わせた健康管理の実現へ

意識的な健康管理や予防促進

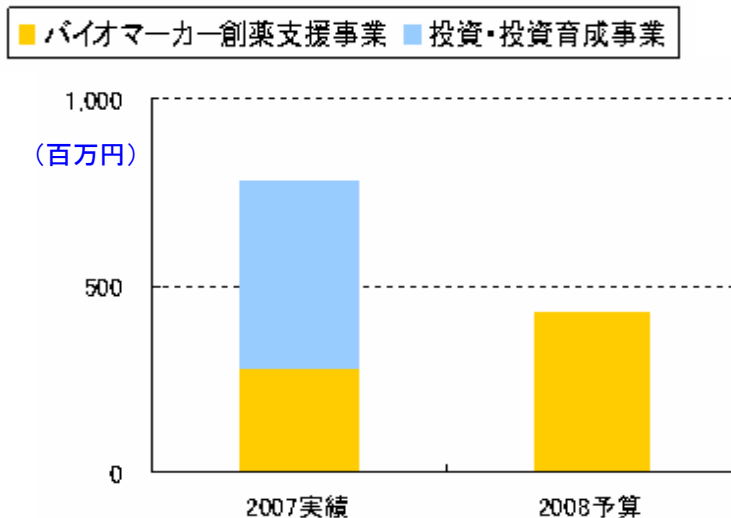
生活

ビジネス

個人の体質に合わせた製品・サービス

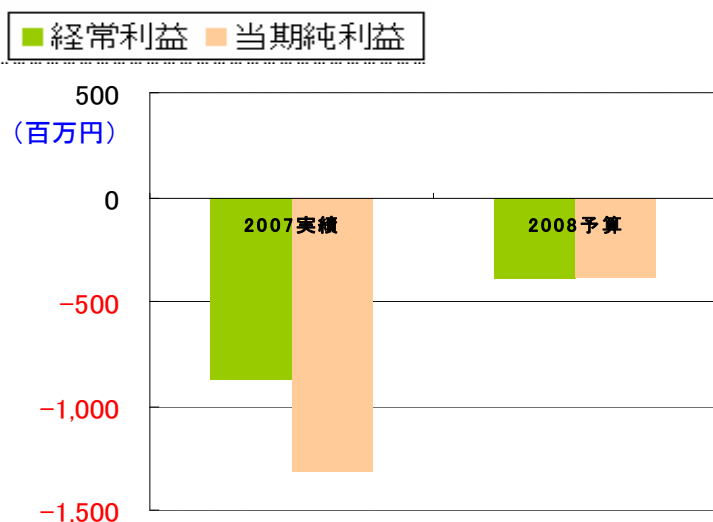
体質に合わせた製品・サービスの実現へ

メディビックグループ 2008年12月期 予算



	2007年 実績	2008年 見込	差異
売上高	780	427	△353
経常利益	△868	△395	+472
当期純利益	△1,314	△381	+932

(単位: 百万円)



投資事業完全分離により売上減だが、
 バイオマーカー創薬支援事業売上+55%増、
 販管費削減35%約3億円予定により
 利益大幅改善見込。
 2009年黒字化へ。

株式会社メディビックグループ

www.medibic.com

◇ 当資料取り扱い注意点

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事業の認識、評価などといった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に係わらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。